手術室における冷温水槽など水路回路を備える装置の衛生管理

【循環水の管理に関する経緯】

海外の単一施設において心臓外科手術を受けた複数の患者が*Mycobacterium chimaera*（マイコバクテリウム・キメラ：日和見病原体）に感染した事例が報告されました。手術室で使用される冷温水槽など水路回路を備える装置との因果関係は否定できないため、それらの衛生管理について再度確認が必要です。

【留意点】

1）　水路回路で加温された循環水を放置すると有機体が水槽内に増殖、バイオフィルム（生物膜）を生成する要因となり、装置内にカビ、細菌（レジオネラ、アシネトバクターなど）や水垢が発生、手術室内の空気も汚染される可能性があります。

2）　水路回路の循環水に接触した手指を介し、患者と接続された血液回路などに汚染された循環水が接触暴露する可能性があります。

3）　循環水の衛生管理方法については装置の取扱説明書などに推奨されている手順を遵守していただくことが重要です。

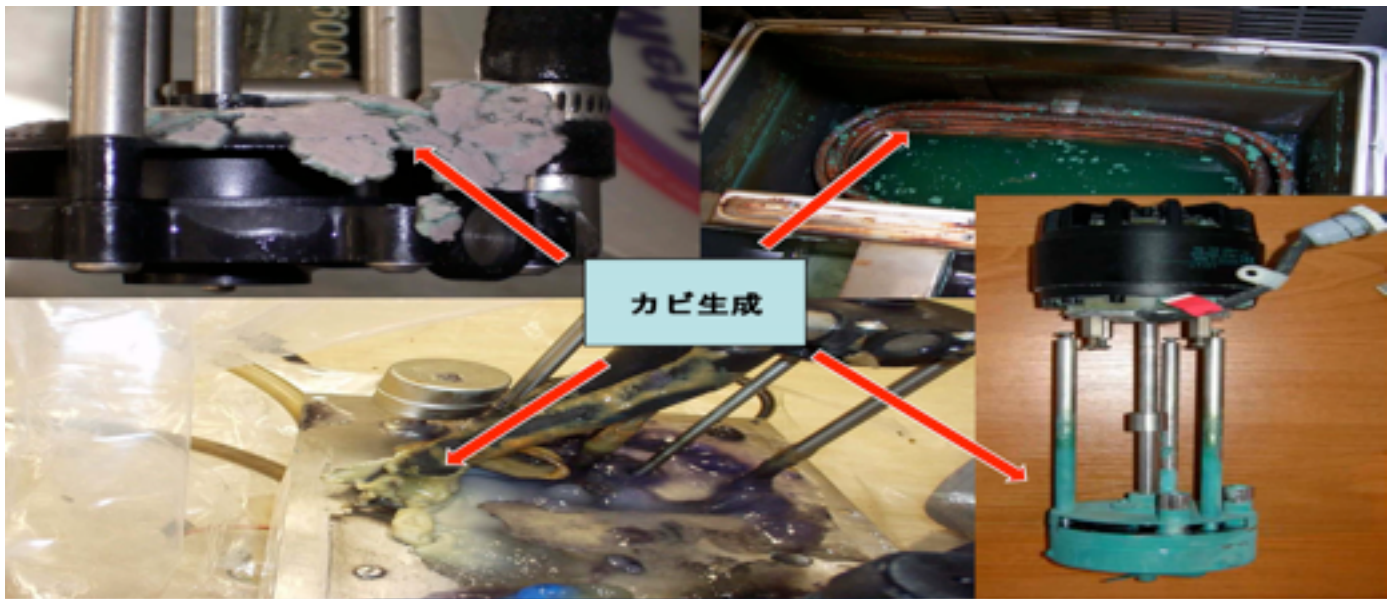
4）　体外循環用冷温水槽の指定されている循環水の種類に限らず、患者加温装置や輸血・輸液加温システム等に使用されている循環水に関しても適切に管理されているかの確認が必要です。なお、使用可能な循環水の種類については装置ごとに異なるため、各施設で確認してください。

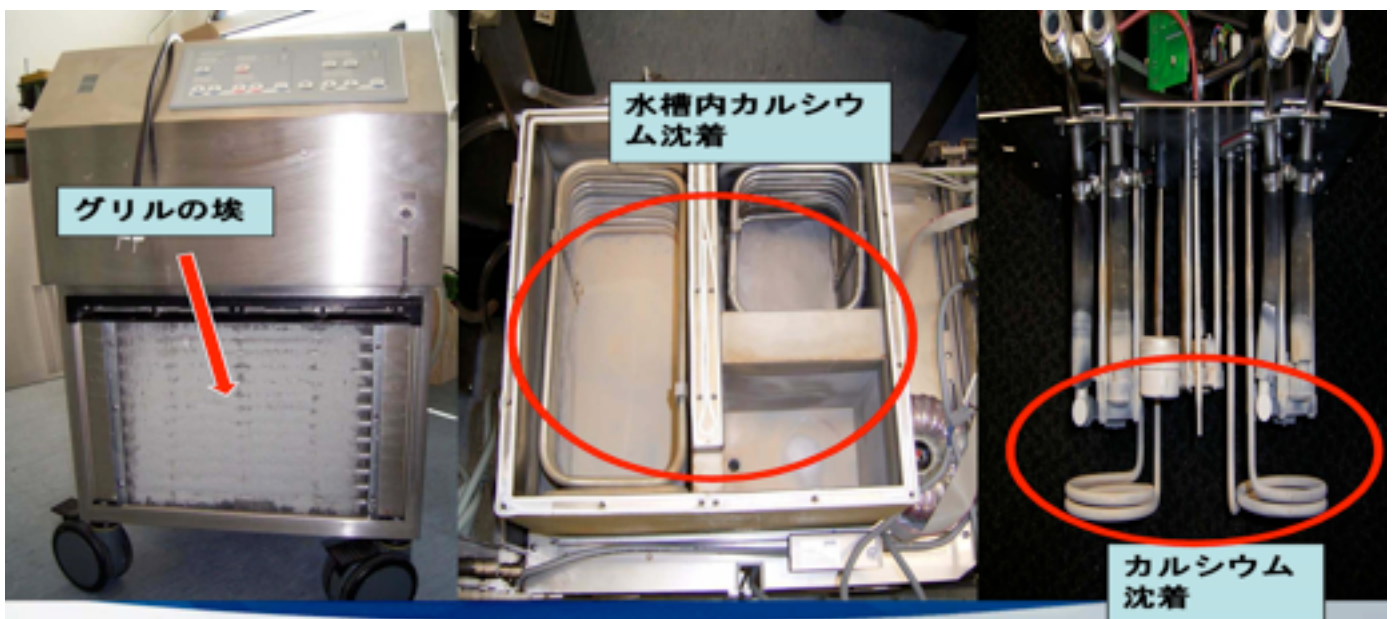
対策

- 循環水は使用毎に排水・乾燥させるか、定期的な交換など各装置の取扱説明書などを参考に各施設で策定された方法に従って循環水の衛生管理を行ってください。
- 定期的な配管や装置本体の洗浄方法においても同様に対応してください。
- 装置や循環水の日常点検項目に「循環水の色や濁り」などの確認項目を加え、適宜水の交換をする。使用しない時には「乾燥させて保管する」など、各施設で可能な方法を策定し、積極的な衛生管理の実施を心がけてください。

Point

冷温水槽などの水路回路を備えている装置やシステム、循環水の衛生管理については取扱説明書に記載されている手順の遵守、定期点検の重要性を再認識していただき、徹底をお願いいたします。

水路回路を用いる装置やシステムにおける衛生管理において再確認が必要です。

雑菌や水垢等は空気感染源の一因となる可能性があります。

冷温水槽内部の水漏れやファン周辺部位の埃なども定期的に確認してください。

カルシウム沈着はバイオフィルム（生物膜）を形成し、菌を増殖させる要因となります。

参考情報

1） 奥 格,ほか：血液加温装置ホットライン循環水中の細菌汚染について.日集中医誌,10;47-48,2003.